



愛知県陶磁美術館
AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

中部芸術文化記者クラブ・瀬戸市政記者クラブ同時

2021年9月16日(木)

愛知県陶磁美術館学芸課

担当 佐藤、大槻、宮川

電話 0561-84-7474

愛知県県民文化局文化部文化芸術課

振興第一グループ

担当 小林、田渡

内線 2459・2462

ダイヤルイン 052-954-6183



大井戸茶碗 有楽井戸



志野茶碗 銘 振袖

特集展示

喫茶の碗の物語

—中国陶磁への憧れ、そして…

会期：2021年10月9日(土)～12月12日(日)

併設・体験 8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」

抹茶の喫茶法は平安時代、禅僧によって中国からもたらされました。唐物(中国製)の喫茶の碗に始まり、茶の湯では高麗物(朝鮮製)、和物(日本製)の碗と新たな喫茶の碗が生まれていきました。絶対的な美を持つ唐物の碗、侘びの美意識によって見出された高麗茶碗や灰被天目。そして桃山時代には日本の美意識で独自の碗を作り出していきます。

中世において日本で唯一の施釉陶窯であった瀬戸窯は、14世紀に天目、茶碗、茶入といった唐物茶陶を手本に和物茶陶の制作を開始しました。瀬戸、そして美濃は唐物に迫る和物碗を作り、茶の湯の隆盛とともに侘びの茶風に適う碗を作っていきます。桃山時代の美濃は志野や織部といった独自の作風で一世を風靡していきま

こうしたダイナミックな喫茶の碗の展開を天目と茶碗という二つの視点から、和物茶陶を代表する瀬戸や美濃が作り上げた喫茶の碗の展開とともに御覧いただきます。

また、ハンズオンレプリカ(手に取り触れる体験用のレプリカ)の茶碗を自由に動かし8K画像で体験する作品鑑賞を併設するとともに、リニューアルした常設展名品コーナーもあわせて御覧いただけます。

みどころ

◆重要美術品の^{おいどちやわん うらくい ど}大井戸茶碗 有楽井戸はじめ、^{くろらくちやわん めい あまでら}黒楽茶碗 銘 尼寺、志野^{ちやわん めい ふりそで}茶碗 銘 振袖など東京国立博物館所蔵の作品9点含む19点を展示します。

◆ハンズオンレプリカの東京国立博物館所蔵の茶碗を自由に動かして8K画像を見る作品鑑賞体験が楽しめます。

- 1 **会 期** 2021年10月9日（土）から12月12日（日）まで 休館日：毎週月曜日
- 2 **開館時間** 午前9時30分から午後4時30分まで（入館は午後4時まで）
- 3 **会 場** 愛知県陶磁美術館 本館2階 第3展示室
（瀬戸市南山口町234番地 電話：0561-84-7474（代表））
- 4 **主な展示作品** 別紙のとおり
- 5 **観覧料**
一般400円（320円）・高大生300円（240円）・中学生以下無料
※（ ）内は20名以上の団体料金
※常設展の観覧券で御覧いただけます。
- 6 **割引制度**
身体等に障がいのある方及び付添者（手帳等提示）等の割引制度があります。
詳細は愛知県陶磁美術館の公式Webページで御確認又はお問合せください。
(https://www.pref.aichi.jp/touji/use_guidance/)
- 7 **主 催** 愛知県陶磁美術館
- 8 **特別協力** 東京国立博物館
- 9 **協 力** 独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター
- 10 **併設・体験コーナー** 8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」



東京国立博物館で昨年度作成された8K画像により、青磁茶碗 銘 馬蝗絆（重要文化財）、大井戸茶碗 有楽井戸（重要美術品）、志野茶碗 銘 振袖の三碗に迫ります。精巧なハンズオンレプリカ（※）三碗を手にも、有楽井戸はコントローラーとして動きと画像が連動し、名茶碗の世界を体感出来ます。

出典：独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター

※青磁茶碗 銘 馬蝗絆（重要文化財）の展示はありません。

※大井戸茶碗 有楽井戸は10月19日（火）から展示開始です。

11 関連行事

特別講座「喫茶の碗の物語 その展開と魅力」

講師 いとうよしあき 伊藤嘉章（当館総長）

日時 11月13日（土） 午後1時30分から3時まで

共催 NPO やきもの文化と芸術振興協会

会場 本館地下1階講堂

定員 100名（先着順）、聴講無料、事前申込不要

12 内覧会について

10月8日（金）に報道関係者向け内覧会を行います。（詳細は別添をご覧ください）

13 問合せ先

愛知県陶磁美術館

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地

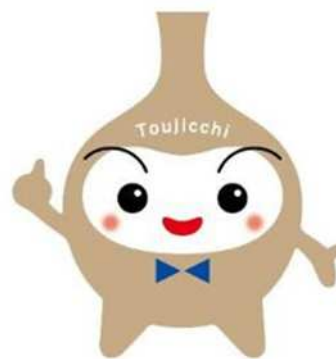
電話：0561-84-7474

ファクシミリ：0561-84-4932

メール：touji@pref.aichi.lg.jp

公式Webページ：<https://www.pref.aichi.jp/touji>

**「大井戸茶碗 有楽井戸（重要美術品）」が
くるぞ！（10/19から展示開始）
実物の鑑賞の後には、8Kで文化財「ふれる・
まわせる名茶碗」も体験しよう！**



当館マスコットキャラクター とうじっち

【主な展示作品】

| | |
|--|--|
| <p>青磁蓮弁文碗 龍泉窯 南宋～元時代 13～14 世紀 東京国立博物館 Image:TNM Image Archives</p>  | <p>日本人が見出した完璧な美 龍泉窯青磁の美しさを体現した名碗です。その独特の深みのある青磁釉、削り出された蓮弁の優雅さは格別で、日本人が見出し、伝えた完璧な美しさがそこにあります。「ふれる・まわせる名茶碗」では重要文化財「青磁茶碗 銘 馬蝗絆」を 8 K 画像でくまなくご覧いただけるとともに、ハンズオンレプリカでその精緻な凄みに触れていただけます。</p> |
| <p>重要美術品 大井戸茶碗 有楽井戸 朝鮮時代 16 世紀 東京国立博物館 Image:TNM Image Archives</p>  | <p>武将が愛した名茶碗 織田信長の弟有楽斎<small>うらくさい</small>は桃山から江戸初期の大茶人で国宝の茶室如庵<small>じょあん</small>（犬山市）を建てたことでも知られています。大井戸茶碗の中でも国宝の喜左衛門<small>きざえもん</small>井戸と並び称される名碗。有楽斎所持がその名の由来、有楽斎の後には紀伊国屋文左衛門<small>きのくにやぶんざえもん</small>も所持していました。今回の「ふれる・まわせる名茶碗」では主役を務め、ハンズオンレプリカに触れることができます。（10/19 から 12/12 まで展示）</p> |
| <p>黒楽茶碗 銘 尼寺 長次郎 桃山時代 16 世紀 東京国立博物館 Image:TNM Image Archives</p>  | <p>利休の茶の湯世界を体現 茶の湯の大成者として知られる千利休は陶工長次郎に楽茶碗を作らせました。それまで唐物という中国製や高麗物という朝鮮製の茶碗が主流であった所に、茶の湯者自らの想いを込めて茶碗を作らせました。黒楽茶碗は瀬戸黒と同様に焼成中に引き出し急冷することで黒くする引き出し黒の碗。一碗一碗作り、削り出し、その柔らかな造形は茶碗に新たな世界を作り出しました。その魅力をとくと御覧あれ。</p> |
| <p>志野茶碗 銘 振袖 美濃 桃山時代 17 世紀 東京国立博物館 Image:TNM Image Archives</p>  | <p>桃山の抽象絵画の世界 志野茶碗の魅力は単なる白ではない志野釉にあります。あくまでも柔らかで、所々にほんのりと緋色が現われるこの茶碗、釉の下から鉄絵が時に色濃く、時に半ば釉に隠れるように現れています。見る人がその中に何を見るかという桃山の抽象絵画の世界。そしてこの茶碗の歪んだ造形の魅力は「ふれる・まわせる名茶碗」で手にすることで分かります。茶碗に手の形を合わせるのではなく、茶碗の方から寄り添うような優しさを体感して下さい。</p> |

報道関係者向け内覧会

特別展「華＊花－四季の花と中国陶磁史－」展と「喫茶の碗の物語」展の報道関係者の方向け内覧会を行います。

お薦めポイント1

特別展「華＊花」展：担当田畑潤^{たばたじゅん}学芸員による解説
（「華＊花」展の図録付き）

「喫茶の碗の物語」展：担当伊藤嘉章総長による解説

お薦めポイント2

併設の8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」を実際に体験していただけます。

お薦めポイント3

10月10日（日）開始の謎解きゲーム「もう一つの名茶碗」の資料配布も行います。

お薦めポイント4

リニューアルした常設展名品コーナーも御覧いただけます。

2021年10月8日（金）午後2時30分～3時30分

（受付 午後2時～2時30分）

愛知県陶磁美術館 本館 1階 第1・2展示室、2階 第3展示室

事前申込制 ※御参加は最小限の人数でお願いいたします。

出席御希望の方は、下記の必要事項を明記の上、10月7日(木)午後5時までに、メールにてお申込いただきますようお願いいたします。こちらから確認のメールをお送りいたします。

■送付先: touji@pref.aichi.lg.jp

■貴社名:

■御芳名（※御参加は最小限の人数でお願いいたします。同行者様の氏名とメールアドレスも記載ください。）:

■御連絡先（住所、電話番号、FAX、メールアドレス）:

■展示風景の撮影を 希望する 希望しない

※内覧会の開催については、今後の状況等により変更する場合がございますので、予め御了承ください。

内覧会実施にあたって

翌日 10 月 9 日（土）午前 10 時 30 分から開会式を予定しておりますが、会場が密にならないよう、御参加の方々には順次来室いただくため、お時間がかかることが予想されます。そのため報道関係者に限った内覧会を行うことといたしました。ぜひ、内覧会へ御参加いただきますよう、お願い申し上げます。

特に「喫茶の碗の物語」特集展示併設・8K で文化財「ふれる・まわせる名茶碗」は、開会式では体験希望者が多く、混雑が予想されますので、内覧会での取材がおすすめです。内覧会では実施中、担当学芸員がおりますので、体験の様子も取材いただけます。

「華＊花」展の中ではお薦めの作品、撮影ポイントを御案内させていただきます。（一部、撮影できないポイントがございます。）

【新型コロナウイルス感染予防対策についてのお知らせとお願い】

- ・発熱や咳き込み等の症状があるお客様は入館を御遠慮ください。
- ・過去 2 週間以内に感染が拡大している国・地域への訪問歴のある方は、入館をお控えください。
- ・入館時に検温を実施しております。37.5 度以上の発熱が確認された場合、入館をお断りいたします。
- ・入館にはマスクの着用が必要です。
- ・手洗い及びアルコール消毒に御協力ください。
- ・他のお客様との間隔を 2 メートル以上空けてください。
- ・展示室内では会話を控えください。
- ・作品、展示ケース、備品や壁にはお手を触れないようお願いいたします。
- ・スタッフもマスクを着用しております。
- ・展示室内の三密(密閉・密集・密接)を防止するため、混雑時には先に入室頂いた方から退室の御協力をお願いすることがあります。

なお、愛知県陶磁美術館で新型コロナウイルスの感染者が確認された場合は、公式 Web ページ(<https://www.pref.aichi.jp/touji/>)にその情報を掲出いたします。

[次回予告]

昭和レトロモダン 洋食器とデザイン画

戦後、日本では神武景気や岩戸景気によって中流階級が増加し、生活様式や家族形態が変化していきました。それに伴い、海外輸出がメインであった洋食器メーカーは国内向け製品を数多く手がけるようになりました。

とりわけ大正期以降から洋食器生産の中心地であった名古屋をはじめ、その生産を支えた瀬戸・土岐など各地域には、戦後数多くの洋食器メーカーが誕生し、時代の要請に応じて全国へ多種多様なデザインの洋食器を送り出しました。

本展では、近年懐かしくも新しいものとしてふたたび脚光を浴びている「昭和レトロモダン」に着目し、昭和初期から昭和40年代にかけて各メーカーが製造した洋食器とデザイン画の展示を通してその歴史と魅力を紹介します。また、それらの生産を支えていた転写による絵付け技法にも迫ります。

- 1 **会 期** 2022年1月8日(土) - 3月21日(月・祝)
休館日：毎週月曜日(ただし1月10日は開館、1月11日は休館)
- 2 **開館時間**：午前9時30分から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)
ただし、1月8日(土)は開会式のため観覧は午前11時から
- 3 **会 場** 愛知県陶磁美術館 本館 第1・第2展示室
(瀬戸市南山口町234番地 電話：0561-84-7474(代表))
- 4 **観 覧 料** 一般600円(480円)・高校・大学生500円(400円)・中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
- 5 **主 催** 愛知県陶磁美術館
- 6 **後 援** 愛知高速交通株式会社(リニモ)、愛知県教育委員会
- 7 **関連事業**：
 - (1) 記念講演会(予定)
講師：^{たかぎのりとし}高木典利氏(近代陶磁研究者)
日時：2022年1月8日(土)午後1時30分～3時
会場：本館地下1階講堂
参加：無料 定員100名(事前申込不要・先着順)
 - (2) ギャラリートーク(5回)
講師：担当学芸員
日時：2022年1月16日(日)、30日(日)、2月26日(土)、
3月12日(土)、21日(月)午後1時30分～1時間程度
会場：本館1階第1・第2展示室
参加：観覧券が必要
 - (3) 連続講座(2回)
日時：2022年2月20日(日)、3月6日(日)
いずれも午後1時30分～1時間程度
会場：本館1階展示説明室
参加：無料 定員50名(事前申込不要・先着順)

(4) ワークショップ「転写シールでコラージュ」

日時：2022年1月15日（土）、2月5日（土）午後1時30分～3時30分

会場：陶芸館

参加：観覧券が必要 定員20名（事前申込要）

8 担当者・問合せ先：

愛知県陶磁美術館 学芸課 いりざわまさあき さとうかずのぶ 入澤聖明、佐藤一信

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地

電話：0561-84-7474

ファクシミリ：0561-84-4932

メール：touji@pref.aichi.lg.jp

公式Webページ：<https://www.pref.aichi.jp/touji>